

広報

たかのす

昭和44年5月14日 第3種郵便物認可(1部16円)

◆編集と発行 鷹巣町役場総務課広報係

☎(2)―1111

◆発行日 毎月1日・15日

◆印刷所 嶺秋北新聞社

〈町民憲章〉

生涯を学習し 文化をひろめ

豊かな町をつくります

No. 329・51・2・1

寒に鍛える!!

暮れから正月にかけて暖か

い日が続いていましたが、大寒

に入ると寒さも一段と厳しく
なりました。

体育館の冷たさが膚にしみる
ような中で、少年剣士たちが
紺や白の装束で「エイッ、ヤ
ッ」と竹刀を振っていました。

面、胴、小手と打ち合う音
が鋭く響きます。

けいこが終って、じっと黙
礼をします。
この激しさと静かさ、こ
の厳しさと礼儀正しさ、こ

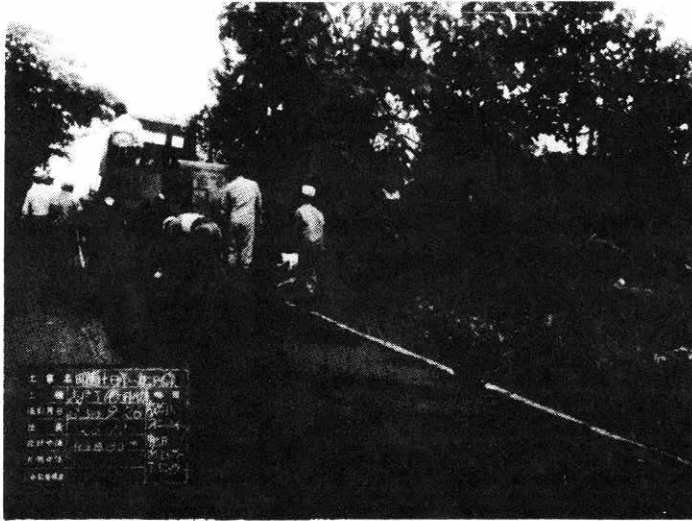
寒に鍛える美しさとも言
うべきでしょうか。(写真
は、体育館で寒げいこをする
剣道スポーツ少年団)



5年計画で道路を整備

辺地住民の生活向上を!!

＝第2次辺地総合整備事業で＝



▲辺地事業で改良舗装を行う七日市～松沢線

▼五十年度を初年度とする第二次辺地総合整備五カ年計画が、十二月定……
 ▼例議会で可決となり、岩谷、大沢、三の渡、黒沢、蟹沢の五辺地の生活……
 ▼環境を高めるため、総事業費四億七千八百五十八万円で、道路整備を重……
 ▼点に事業を進めることになりました。

第一次辺地総合整備計画では、四十五年度を初年度に四十九年度まで総事業費九千二百十三万円で、岩谷地区は二号橋の架設、二本杉西又線の改良、綴子松原線の舗装、三の渡地区は七日市松沢線の改良舗装、松沢児童館、竜森へき地保育所の建設、竜森小通学

バスの購入。舟木地区は品類線の改良をすすめ、辺地の生活向上を図ってきました。町では、第一次辺地総合整備計画が予定どおり終了したので、五十年度を初年度に総事業費四億七千八百五十八万円で岩谷、大沢、三の渡、黒沢、蟹沢の五辺地の道路整備

を重点とした第二次辺地総合整備計画を策定したものです。第二次計画では、五十年度は事業費六千七百四十六万五千円で、岩谷地区は二本杉西又線の改良と綴子松沢線の舗装、大沢地区は摩当李信線の改良、三の渡地区は七日市松沢線の舗装を進めることにし、それぞれ計画どおり現在工事中であります。

地区、三の渡地区の改良舗装。五十年度は九千三十一万五千円で、岩谷地区、三の渡地区の改良舗装。五十三年度は一億二百六十九万九千円で、黒沢地区、蟹沢地区の改良舗装。最終年度の五十四年度は一億二千八百七十八万七千円で、岩谷地区、大沢地区、黒沢地区、蟹沢地区の改良舗装を行うことにしており、これが計画どおり完了しますと、辺地の町道はおおきく改良舗装がおわるようになります。このことにより、辺地住民の通勤、医療、買物など日常生活の向上が計られ、辺地の解消が期待されます。

へ紙 町政にあなたの声を お待ちしています

公聴活動の一環として二月一日から二十九日までの一カ月間「町長への手紙強調月間」としました。

町長への手紙は、住民の意見や要望を町政に反映させ、住民参加の町政をすすめるために実施するものです。日ごろ町政について考えているあなたの意見や要望、身近かに感じていることや

アイデア等、どんなことでもけっこうです。どしどしお寄せください。手紙の用紙は、本紙九、十ページを利用して刷り込みしてありますので、線にそって切りぬき、切手をはらないでお近くの郵便ポストにお入れください。なお、この手紙は三月三十一日差し出しまで切手は不用です。

町長日誌

1月1日～1月15日

4日 出初式

5日 鷹巣建設技能組合通

6日 常総会

8日 名譽町民故成田喜八

9日 氏町民葬

10日 鷹巣町商工会新春懇

11日 談会

12日 商工婦人部新年親睦

13日 能代工務事務所との

14日 打ち合わせ会Ⅱ能代

15日 鷹巣地区婦人会新年

の集い

16日 あきぎん会新年会

17日 役場課長会議

18日 鷹巣町校長、教頭合

19日 同研修会

20日 生涯教育研修会

議会日誌

1月1日～1月15日

5日 全員協議会

固定資産税の

第四期納期限は…

二月末日まで

＝ 申告日程表 ＝

日 時	会 場	午前9時 ～ 午前12時	午後1時 ～ 午後4時
2・2	役場大会議室	所得税確定申告説明会	所得税確定申告説明会
2・5	//	東横町・西横町・仲町・大町	学校通・旭町・新旭町・西仲通
2・6	//	三吉町・桜木町・元新町・栄町	花園町・末広町・米代町・東住吉町
2・9	//	西住吉町・北新町・太平町・福住町	松葉町・駅前・新松葉町・材木町
2・10	//	東仲通・伊勢町・東旭町・西旭町	舟見町・あけぼの町・森館町
2・12	//	高野尻・掛泥	掛泥
2・13	//	太田	太田
2・14	二本杉会館	岩谷・二本杉	
2・16	田中会館	田中	新田中・南田中
2・17	栄生活改善センター	李岱・田沢・大沢	摩当
2・18	舟場会館	舟場・佐助岱・高森岱	堂ヶ岱・南鷹巣
2・19	役場大会議室	湯車・小ヶ田・川口	緑ヶ丘
2・20	旧綴子支所	小田・田子ヶ沢・松原	綴子上町
2・23	//	昭和・大堤	綴子下町
2・24	糠沢会館	大畑・向黒沢	糠沢
2・25	今泉会館	蟹沢	今泉
2・26	前山会館	前山	前山
2・27	坊沢公民館	深間・相善	羽立・上町
2・28	中屋敷会館	中屋敷	
3・1	坊沢公民館	黒沢・街道町	大町・新屋敷
3・2	小森会館	湯ノ岱・坊山・四渡	小森
3・3	沢口農協	藤株・小摩当	脇神・上町
3・4	七日市公民館	根本屋敷・妹尾館・中畑	本郷1組～6組
3・5	//	品類・深沢・吉ヶ沢・下舟木	岩脇・横瀬・吉野
3・8	三ノ渡会館	上舟木・明利又	松沢・黒森・三ノ渡
3・9	葛黒会館	大畑・与助岱	葛黒・門ヶ沢
3・10	役場大会議室	日程表により申告出来ない人	日程表により申告出来ない人
3・11	//	//	//
3・12	//	//	//
3・13	//	//	//
3・15	//	//	//

昭和51年度分

税の申告が始まります!!

2日は説明会 5日から申告

昭和五十一年度分町民税、県民税の申告を、別記日程により行います。

この申告は、みなさんの町民税、県民税、国民健康保険

税の税額計算の基礎になります。もし申告されないと、いろいろの所得控除をしないので税金を計算することになり、余分に税金を納めなければな

りませんので、あなたの指定日に期日厳守のうえ、申告してください。

▼申告しなければならぬ人
昭和五十一年一月一日現在、

①勤務先に給与から住民税を差し引かれる人
※ただし、給与所得以外に、地代、家賃、配当、営業、

⑦大学生のいる家庭では、在

鷹巣町内に住所のある人（この場合、住民登録の届出をしてなくても鷹巣町に住んでいる人）で、五十年中に所得のあった人……株式配当、公社債等も含まれます。

▼申告の相談受付と時期
申告相談受付は、あなたの指定日より、期日厳守のうえ申告してください。

▼申告の受付にお持ちいただくもの
①印鑑 ②生命保険の支払証明書 ③火災等の損害を受けた方は、損害額証明書 ④医療費のある方は、医師、薬局等の支払証明書 ⑤本人または扶養親族に障害のある方は、その障害者手帳および戦病者手帳 ⑥農機具の取得年月日および購入金額の証明書 ⑦大学生のいる家庭では、在

町の病気の実態



国保疾病統計から

一カ月の医療費
5千4百万円

5月診療分（一カ月分）の

総数では被保険者1万1千9百87人のうち、病気やケガで医者にかかった人が42%にあたる5千61人もおり、その医療費が5千4百万円になった。

国民健康保険では、昭和50年5月診療分をもとに、鷹巣町の病気の実態を罹病率、医療費の面から分析してみましたので、その概要をお知らせします。

罹病率のベスト10

- ①高血圧症、脳血管疾患…………… 804人
- ②歯の疾患…………… 701人
- ③感冒、インフルエンザ…………… 667人
- ④眼の疾患…………… 318人
- ⑤リウマチ性疾患…………… 311人
- ⑥神経痛…………… 303人
- ⑦皮膚の疾患…………… 225人
- ⑧胃、十二指腸疾患…………… 224人
- ⑨心臓、循環器系疾患…………… 220人
- ⑩不慮の事故…………… 190人

罹病率では 高血圧がトップ

医者にかかった割合を示す罹病率でみれば、百人のうち半数近い42人が何らかのかたちで医者にかかっています。罹病率のベスト10では、県民病、町民病といわれる「高血圧、脳血管疾患」が前年まで1位の「カゼ」を抜いてトップとなり、2位は「歯の疾患」が占め、3位に「感冒等呼吸器感染」いわゆる「カゼ」が入っており、いぜん三大疾

病をたもっています。これから50年度1カ年分を推計すれば6億5千万円余りにもなります。この統計は、国保加入者だけの分ですから、町全体ではおよそ2倍の13億円もの巨額がみなさんの医療費として使われていることになります。

医療費も 高血圧が第一位

医療費のベスト10では、トップが「高血圧、脳卒中」で総額の20%にあたる1千80万円と断然多く県民病、町民病の座はゆるぎそうにありま

病をたもっています。また「眼の疾患」が昨年の6位から4位に上がり、不注意による「不慮の事故」が10位にできています。近年の傾向として、下位ではあるが「ガン」「精神病」が昨年の3倍ぐらいに増えているのも注目されます。

医療費のベスト10

- ①高血圧症、脳血管疾患…………… 10,824,080円
- ②悪性腫瘍（ガン）…………… 5,788,240円
- ③歯の疾患…………… 4,677,240円
- ④不慮の事故…………… 3,972,930円
- ⑤心臓、循環器系疾患…………… 2,622,020円
- ⑥リウマチ性疾患…………… 2,531,930円
- ⑦感冒、インフルエンザ…………… 2,144,970円
- ⑧神経痛…………… 2,011,670円
- ⑨精神病…………… 1,378,330円
- ⑩胃、十二指腸疾患…………… 1,356,260円

事故」が4百万円で続いています。また、現代病の一つと云われている「精神病」が、罹病率では少しであるのに医療費では9位に進出してきており問題を投げかけています。

みんなで注意 そろって予防

このように見てみると、みなさんがふだんの注意と予防でふせげる病気が以外に多いことがわかります。なかでも一人の慢性病患者が同じ病気でありながら数軒の病院にかかっている例もみられ、医療費浪費の原因にもなっています。

また、「ガン、脳卒中、不慮の事故」等は、多額の医療費を使いながら働きざかりの身体を不具廃疾に追いやり、わたしたちの尊い生命を奪いしあわせな家庭を大きな不幸にまねく元凶となっているのです。

これに対処するには、ひとりひとりが病気に関心をもち、予防接種や胃集団検診、婦人病検診などの成人病検診をすすんで受け、家族みんなで注意しあいながら、自分の家庭から、自分の町内から病人を出さないようにすることが大事です。いま一度、みんなで鷹巣町の病気の実態を考えてみましょう。

生涯教育研究集会

反省と方向を求めて

九分科会で熱心に討議

町の生涯教育集会在、去る一月十五日鷹巣公民館に百三十名が参加して開かれました。

集会では、「生涯の各時期における教育の課題とその振興策はどうあればよいか」、「生涯教育の推進体制はどうあればよいか」を主題に、九つの部門に分かれて話し合い、本町社会教育の今後の営みに一つの方角づけをしました。

○：本町は昭和四十六年、県の生涯教育パイロット指定を受けて以来、数次にわたり部落巡回座談や、住民の意識調査等の実践研究を進めてきま

した。その後、各地区での多様な学習が展開されつつ今日にいたり、今では数十もの学習集団や趣味同好のグループが、日夜となく活動を続けて

います。

今後の課題と問題点

○：さて、五カ年を経過した鷹巣町生涯教育推進本部では、これまでの営みを反省、総括して、今後の課題や問題点を浮き彫りにしましたので、その大略を記してみます。

①：若い母親は、子どもの家庭教育上の問題をかかえ悩んでいるが、どうしたら幼児教育についての学習機会を適切に提供することができるだろうか。

②：社会環境の変化にともなう、青少年は自然から離れたところ、彼らの健全育成のため、もっと指導機関が連絡し合い、リーダー養成等に進める必要があるのではないかと、協同や自己抑制の意識を高めるためにも。

③：政治経済の影響を受け、多くの人は苦難の道を歩いている。そうした中で、部落づくり、町内づくりの重要さを思うとき、社会教育の面で、どんな育成援助の手が期待されるのだろうか。

④：婦人団体の細分化と会員の減少が目立つ。各婦人団体の孤立化を是正、活動の連絡提携をはからなければならぬ。五十歳から六十五歳代婦人の学習機会を多くしたり、新しい婦人リーダーの開発を進めることが肝要ではないか。

⑤：高齢者が生きがいを感じ、仲間と共に学習し、いっそう健康に留意するようその施策がだいじである。

⑥：どうしたら芸術文化活動がいつそう高まり、施設設備の充実が遂げられるだろうか。文化財の保護活用をはかる配慮をすべきだ。

⑦：いつでも、どこでも、だれでも学習を求めることがでる体制をつくるには、組織や推進体制のうえにどんな改善が要請されるのだろうか。

⑧：多様化する住民の要望を考慮しつつ、スポーツの大衆化、生活化を目指して、さらに社会体育の発展をはからなければならぬ。など、数十項目にわたる今後の課題と問題点をあげております。

分科会での意見

○：各分科会では、前記、問

分科会での話し合い



題点等をふまえながら、意見がかわされましたが、全体会の席上で報告された骨子は、次のとおりでした。

▽幼児教育部門：しつけは、幼児のうちにこそ厳しくやるべきだ。若妻会などで、その勉強をすることが大事である。

▽少年教育、青年教育部門：子どもにはもっと「お手伝い」を。青年の労働意識が不足。郷土を忘れずに何かやろう。の気持はある。要求課題を集中して活動を高めた。

▽成人教育部門：個々には高度な知識、技術を持っているが組織化されていない。多忙ではあるが、今後、社会形成にかかわる学習をした。

▽婦人教育部門：就労者が多い。経営者との話し合いで企業内教育を考える時期だ。リ

ーダー養成がだいじ。分館にも講座が必要だ。

▽高齢者教育部門：昔と違って、家の中の仕事が多くなった。みんなは集りを待っている。経験を生かし、趣味、文化を伝える風風が欲しい。

▽芸術文化財部門：秋の文化祭以外に発表の機会が欲しい。文化財の保護伝承がだいじ。

▽推進体制部門：町の中央部はいいとして、周辺農村部の活動が少ない。分館の中に部落会長の位置づけをして、組織と体系を整えて欲しい。

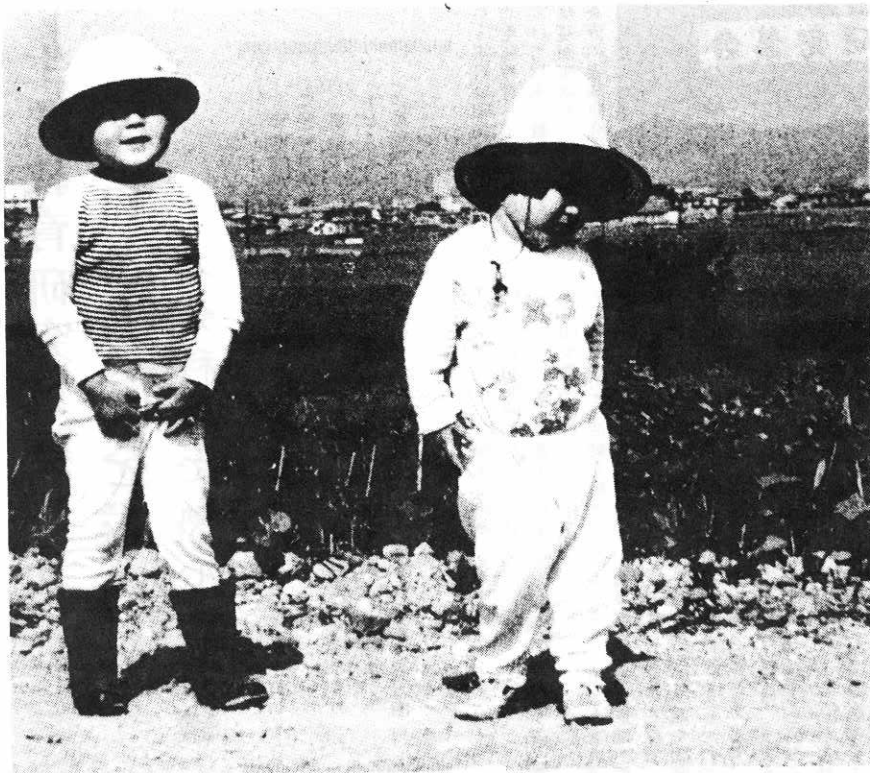
▽社会体育部門：公認グラウンド等、各種の施設が欲しい。町民運動会についての再検討が必要。学校開放を積極的にして欲しい。などが発表されました。

楽しみや生きがい

人間は学校を卒業したからといって、学ぶことが無用になるのではないと思います。人は生涯を通じて、なんらかの形で社会からの感化を受け、また学ぶことが多いのです。生涯教育とは言うが、それは与えられるものではなく、自分の身近なところに喜びを発見し、問題解決のために自ら学習することだと思います。自主的に学ぶのだから、ほのかな楽しみや生きがいを感じられるのではないのでしょうか。

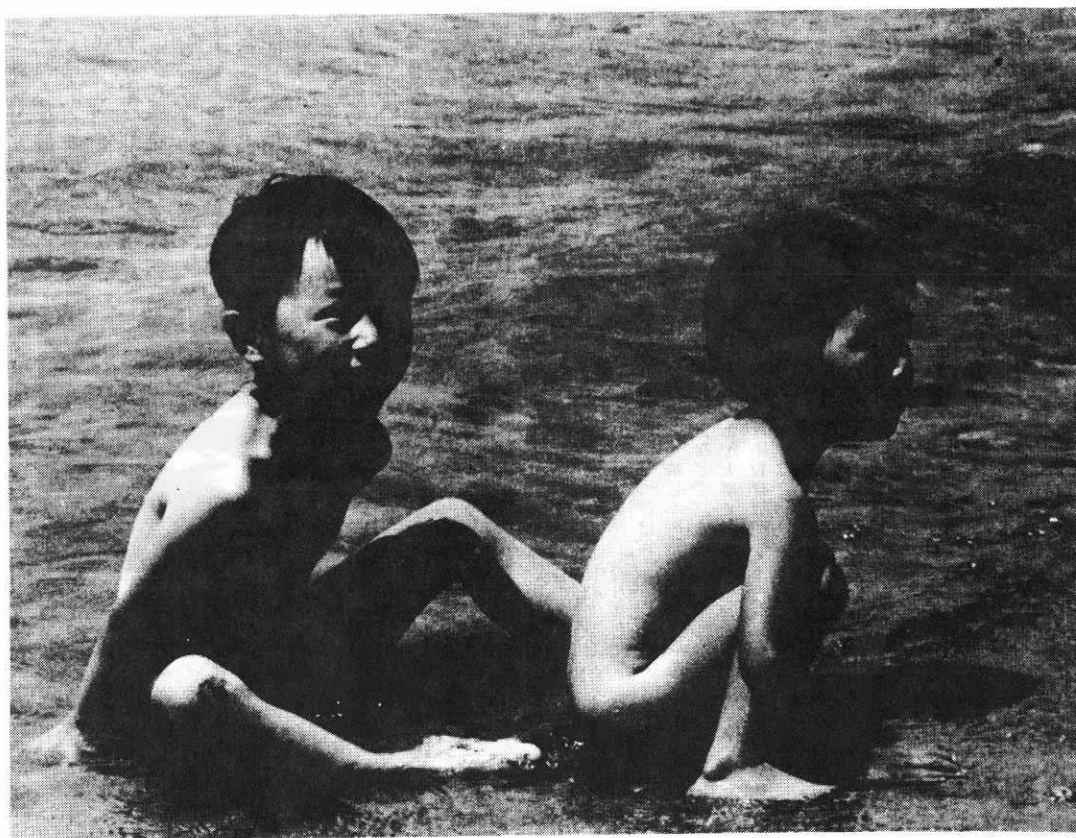


▲分科会でのまとめを発表する全体会



「女の子だもん」 藤島 浩（太田）

第三回 広報写真コンテスト
応募作品から（課題Ⅱ子ども）



【町外特別賞】

「水辺の兄弟」

栗林 功（秋田市）

墨こん鮮やかに

新年書きぞめ大会

第六回新年書きぞめ大会が、一月十一日午後一時から公民館に二百八十名が参加して行われました。

大会は、年ごとに参加者がふえ、主催した公民館では予定していたホールだけでは狭く、急きょ三階の大教室など三会場に分散して行うほどの盛会でした。

参加者は、付き添いの父兄や多くの人たちが熱心に見守るなかで「新春の天空」「平和の朝」「澄んだ大空」など、伸び伸びと書きあけていました。

△小学二年 永井孝史、三沢士(以上中央) 畠山じゅんこ(綴子)

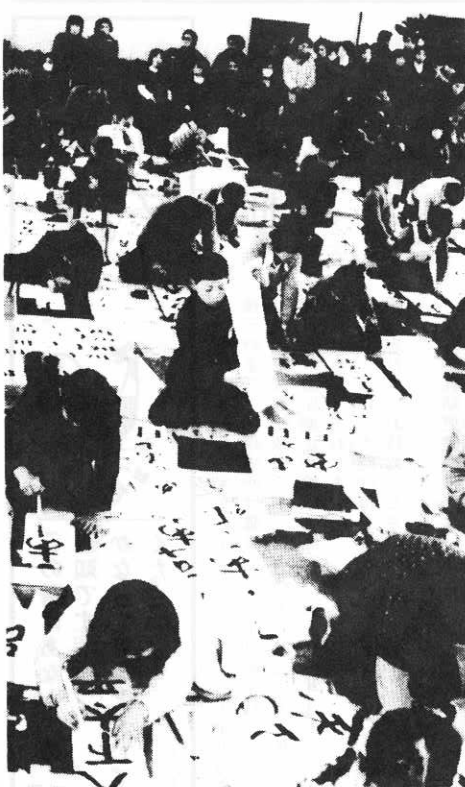
△小学一年 藤島泰子、福原暢允、三富暢子(以上鷹巣) 村上能之(東)

△小学三年 笹代美代子(竜森) 畠山勝、岩川いすみ(以上鷹巣) 成田憲一(中

央) 出川あけみ、松田春彦 畠山康憲(以上綴子) △小学四年 山城徳子、神成京子(以上南) 戸島淳子(西) 三沢学(中央) 河田富美香(鷹巣) 三上美賀子(竜森) △小学五年 神成泰行(南) 佐藤司、近藤裕子、畠山真由美(以上竜森) △小学六年 明石ふさ子、工藤悟美、藤島摩理子(以上綴子) 三浦高子(西) 畠山あけみ、三上恵子、畠山正(以上竜森) △中学一年 佐藤美幸(南) △中学二年 松橋敏明(鷹巣) △一般 尾久作太郎(あけはの町) 小塚福治(高村岱)

町民卓球大会

第十三回町民卓球大会が、



▲会場いっぱい書きぞめ大会

二月八日(日)午前九時から体育館で行われます。競技は、団体戦男女、個人戦男女、混合ダブルスなど、くわしいことについては体育館(二一三八〇〇)へお問い合わせください。

参加料は無料です。

町民スキー大会
15日薬師山で!!

第十四回町民スキー大会を二月十五日(日)午前九時から町営薬師山スキー場で開催します。

競技は、小学校の部(四年以上学年別)、中学校の部、青年の部(高校生を含む二十五才まで)、成年の部(二十六才から三十四才まで)、壮年期(三十五才から四十四歳まで)、壮年後期(四十五才以上)、一般女子(高校生含む)に分かれ、回転、大回転、距離、リレー競技などが行われます。

また、みかんひろいなどの遊技もありますので、ご家族おそろいでご参加、ご声援ください。

お年玉年賀ハガキ

引き換えはお早めに

年賀はがきのお年玉賞品引換期間は、一月二十日から七月十九日までです。

当せんしたハガキは、くじ番号部分を切り離さずそのまま郵便局へ持って行ってください。

なお、三等以上の賞品を受け取る場合は、くじ番号部分の下部余白または裏面に、受け取られる方の署名か押印が必要で、

当せん番号は、次のとおりです。

等 級	組	番 号
1 等	A B 共通	317610 088177
	A 組	245911
2 等	A B 共通	下5けた 25807
	A 組	下5けた 59570
3 等	A B 共通	下3けた 712 442
4 等	A B 共通	下2けた 84・77・40

身障者の職業訓練生入校案内!!

国立宮城身体障害者職業訓練校(仙台市台原五丁目一五の一)では、次の要領で訓練生を募集しております。

募集科

時計修理科、電子機器科、洋服科、洋服科、和裁科、軽印刷科、製くつ科、義肢装具科、理容科、事務科、デザイン科

訓練期間

一カ年(五十一年四月入校) 選考方法 面接および簡単な作文

特典

訓練料は無料です。

訓練期間中は、月約四万四千円から五万円の手当が支給されます。

寄宿舎に入る人には「移動資金」が支給されます。

△申し込み期限 二月十二日まで

△申し込み先

大館職業安定所鷹巣出張所(電話二一四〇〇) なお、くわしいお問い合わせも同所へ。

ヒトクチメモ

町の数は一、九七七

自治省はこのほど、五十一年一月一日現在の市町村数をまとめた。それによると市は六百四十三、町一千九百七十七、村六百三十六、計三千二百五十六となっている。

これを前年同期とくらべると町が一つふえ、村は十減少、市は変化なく、減少は村だけである。また昨年は四月に明治二十二年に市町村制が施行されて以来、はじめて市の数(六百四十三)が村の数(六百四十)を上回るなど、市町村数のうごきの上では目立つた。(町村週報より抜粋)

お知らせ コーナー



この欄はあなたへの
通知です。
かならず目をとおして
ください。

二月の健康相談

二月の健康相談は、十二日と二十五日です。

時間は、午前十時から午後三時まで、鷹巣町公民館保健相談室で血圧測定やムシ歯予防のフッ素イオン導入法を行います。

二月の妊婦健康相談は、十六日です。

時間は、午前九時半から午後三時まで、相談場所は鷹巣町公民館保健相談室です。希望により血圧測定や検尿、衛生教育も行っております。

なお、おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。

二月の乳幼児健康相談は、五日と十九日です。

時間は、十二時三十分から午後一時三十分まで、相談場所は鷹巣保健所となっております。

▽五日は、五十年七月生まれと十月生まれ。
▽十九日は、五十年一月生まれと四月生まれ。

税の申告会場で 年金相談も行う

二月五日から町民税の申告がはじまります。

年金係では、申告会場において年金加入者の納付確認、未納保険料の納付促進、未加

歳末たすけあい

＝ご寄付ありがとうございました＝

昨年12月に行いました歳末たすけあい運動では、町民各位のあたたかい思いやりで、この運動も好調に終ることができました。

募金実績は、町内5,596世帯から106万4千28円、善意募金として46万9千9百78円、合計で153万3千2百6円でした。

町社会福祉協議会では、さっそく町内の生活保護世帯、福祉施設、および本町出身の方がお世話になっている町外の福祉施設などに贈りました。

各位のご協力に深く感謝いたします。
なお、善意募金された方は次のとおりです。

記

鷹巣遊技協会	県職労青年部
役場職員有志	民謡協会県北支部
鷹巣生命協会	鷹小児童会
躍鷹会	イシヤマ鷹巣店
鷹巣ボランティア	辰巳の会
河田 栄子	鷹巣女子学院 J R C
長岐 修	

入者の加入促進、附加年金の加入奨励、老令福祉年金停止者の総合相談をあわせて実施します。

なお、相談される方は、年金手帳か領収書(本人のもの)を、また現在会社に勤務の方は、厚生年金の加入脱退のわかる証書をお持ちください。

当日は、五十年度未納保険料を会場で納付できます。
どなたでもご利用ください。
※毎月十七日の年金相談もを行います。時間は、午前十時から午後三時まで鷹巣町公民館です。

50年度共同募金実績

目標額を上回る
二百十九万四円余り

昨年の十月一日から三十一日までの一カ月間、赤い羽根共同募金が行われましたが、本町の募金目標である百五十七万九千六百円を六十二万九千九百七十九円九角九厘上回る二百十九万九千九百七十九円の募金がありました。

ご芳志に感謝いたします。
みなさんからの募金は、すべて県の共同募金会におさめられ、社会福祉事業に役立てられます。

なお、募金の内訳は、毎戸募金が百三十二万六千三百四十四円、大口募金八十四万四千円、街頭募金一万九千八百七

新町内協力員紹介

▽七日市地区

根本屋敷 佐藤 忠治
田沢 龜山 博

《訂正》

一月十五日号八ページ掲載の慶弔だより欄中、下町・篠原康輔(康夫長女)は(康夫長男)ですので、おわびして訂正いたします。

慶弔だより

1月1日～1月15日

誕生おめでとうございます

武田真由子(久治郎長女)
伊藤清彦(清忠長男) 伊勢町
津谷小百合(民夫二女) 田子ヶ沢

太田将仁(行雄長男) 糠沢
村上こず恵(儀平長女) 太田
畠山正寿(寿一男) 李岱

篠内晃子(峯英長女) 今泉
河田綾子(信夫長女) 北新町

二人の前途を祝福いたします

伊藤 道昭 花園町
成田 洋子 松葉町
千葉 美知雄 伊勢町
千葉 テル子 小森

飯坂 博子	吉田 礼	佐藤 義博	藤島 久義	蛭田 映子	成田 誠一	川井 文子	佐藤 政義	田村 妙子	石戸 和子
福住町	黒沢	合川	糠沢	舟見	森吉	今泉	八森	西横	大館

おくりやみ申しあげます

佐々木 大(82) 東旭町
三沢 三郎(68) 大堤
桜庭 喜一郎(69) 蟹沢
藤島 左衛吉(75) 舟見町



町の人口

(12月31日現在 住民基本台帳)			
	前月比	増減	
総人口	25,259人	35人増	
男	12,289人	22人増	
女	12,970人	13人増	
世帯数	6,966世帯	14世帯増	